

■ 関西大学相撲部の土俵で汗を流した大関が綱取りへ ■ **安青錦関を校友 100 人が春場所で応援！** ～ 3月18日(水)エディオンアリーナ大阪/春場所11日目 ～

このたび、関西大学と縁の深い大関・安青錦関を校友 100 人で応援に行く企画を、3月18日(水)春場所11日目にエディオンアリーナ大阪で実施します。安青錦関はウクライナから来日後、しばらく本学の体育会相撲部の練習生として同じ土俵で部員とともに汗を流しました。この度の春場所は、3 場所連続優勝や「綱取り」のかかる場所として注目されます。

本件のポイント

- ・関大相撲部の元練習生で「綱取り」に挑む大関・安青錦関を卒業生ら 100 人が春場所で応援
- ・ウクライナから戦火を逃れて来日した直後に関大の土俵で鍛錬。絆は化粧まわし寄贈などでも続く
- ・来日を支えた山中新大相撲部コーチら関大関係者の囲み取材も実施

本企画は関西大学校友会が主催して希望者を募り、100 人が参加。春場所の行われるエディオンアリーナ大阪で芝井 敬司理事長、田中 義信校友会長（大阪安青錦関後援会発起人）、来日のきっかけとなった山中 新大相撲部コーチ（当時主将）、ウクライナ人留学生のポルチェンコ・マリア・ソフィアさんを含む 100 人が、横綱を目指す力士に声援を送ります。

全取組終了後に囲み取材をご希望の方は、以下から申し込みをお願いします。

■ 囲み取材の概要

- 【日 時】 2026年3月18日(水) 18時半ごろ
- 【会 場】 エディオンアリーナ東門付近
- 【取材対象者】 校友会長、理事長、相撲部コーチ、留学生

■ 安青錦関と関西大学とのつながり

安青錦関は 2004 年にウクライナのヴィネンツヤで生まれ、戦火を逃れて日本で力士を目指すため、国際大会で知り合っていた関西大学の山中 新大主将（当時）に連絡。来日後、山中主将宅にホームステイをしながら関西大学相撲部の土俵で部員らと汗を流しました。

安治川部屋に入門し、2023 年に初土俵を踏みました。2025 年度春場所で幕内入りを果たし、その後も順調に勝ち星を重ね、25 年九州場所、26 年初場所では連続優勝を達成しました。「安青錦新大（あおにしき・あらた）」のしこ名は山中元主将の名前にちなんだものです。



< 2024年11月
 十両昇進を機に行われた化粧まわし贈呈式の様子 >

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。